

知能情報工学演習I 第7回(後半第1回) 課題の回答

岩村雅一

masa@cs.osakafu-u.ac.jp

回答例

現時点ではお約束

```
#include <stdio.h>
```

```
int main(void) {
```

```
    char a, b;
```

```
    char plus, minus;
```

変数の宣言

データ型 (intでもよい)

```
    a = 5;
```

```
    b = 19;
```

変数の初期化

```
    plus = a+b;
```

```
    minus = a-b;
```

計算

```
    printf("a = %d\n", a);
```

```
    printf("b = %d\n", b);
```

```
    printf("a + b = %d\n", plus);
```

```
    printf("a - b = %d\n", minus);
```

出力

```
    return(0);
```

```
}
```




前回の課題

- 変数 a にあながた生まれた月、変数 b に生まれた日を代入して、 $a+b$ と $a-b$ を計算して出力するプログラムを作成しなさい
- ただし、レポートはLaTeXで作成し、DVIファイル(.dvi)とCのソース(.c)を提出すること
 - レポートには名前、学籍番号、授業に対するコメント(任意)を書く
 - Cのソースは`¥begin{verbatim}`と`¥end{verbatim}`で囲む(5月10日の資料の6.1を参照)



提出された解答について

- ほとんどの人はOK
- Cのソースをコンパイルできない
 - Cのソースではなく、実行形式、LaTeXのソースなどを提出
 - 提出45人中、少なくとも5人
 - 事前にコンパイルできることを確認する
- DVIファイルではなく、LaTeXのソースなどを提出
 - 提出45人中、少なくとも3人



コメントに対して

- 「もう少し早く教室の鍵が開けば嬉しいです」
→あ、ごめんなさい。。。
 - 「Windows上でC言語を利用できるフリーソフトがあれば紹介して欲しい」
→Cygwinというものがあるので、検索してみてください
 - 「なんじゃこら」、「ちんぷんかんぷん」、「難しい」、「暗号？」
→最初は考えてもわからないかもしれませんが、そのうち当たり前になってきます。習うより慣れろ。
- 最初、慣れるまではなるべくゆっくり授業を進めるので、わからないところを放っておかず、質問してください。